

事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス町田駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	85.70%	0.00%	14.30%	・ホワイトボード、机などを移動させる ・活動によっては狭く、危険である ・広いスペースを確保しているか	スペースは限られているが、その中で、活動内容に合わせて配置を変えて対応していきたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	71.40%	0.00%	28.60%	・人員不足になった際、どこに人をつけるかを相談する。 ・計画的に人員配置をしている。	朝のミーティングでは、最終の配置の確認を行い、利用者の多い時には安全の確保を最優先にしている。
	3 生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	71.40%	0.00%	28.60%	・階段 ・視覚的にわかりやすく工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	85.70%	0.00%	14.30%	朝に掃除をする	職員同士で清掃について足りない点などを共有している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	57.10%	28.60%	14.30%	・時間を決めて対応 ・必要に応じて、集団からはなれるスペースが確保されている。	時間帯によっては、部屋を確保することはできるが、難しい時間帯は代替するスペースを作る等して工夫している。
	6 業務改善を進めるための F0/A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	71.40%	0.00%	28.60%	常勤会議、月1ミーティングに伝える	
	7 保護者向け評価表より、保護者等の意向や把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71.40%	0.00%	28.60%	・アンケートに出た意見を共有して、改善のための話し合いを行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71.40%	0.00%	28.60%	・常勤会議、月1ミーティングの際に伝える ・ミーティング ・朝タミーティングをおこなっている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57.10%	0.00%	42.90%		現在行っていないが、必要に応じて検討する。
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	57.10%	14.30%	28.60%	スーパーバイザーがいる。	継続的に理学療法士のアドバイスを受けている。その他の研修と共に、指導員同志での知識や情報の交換等についても大切にしている。
業務改善	11 事前打ち合わせを行っている。	71.40%	0.00%	28.60%	・他の指導員に共有 ・発達に合わせて検討されている。	
	12 朝のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	71.40%	0.00%	28.60%	・面談の内容を共有 ・保護者からの情報と活動中の様子から、担当者会議して計画を立てている。	
	13 個別支援計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	71.40%	0.00%	28.60%	・常勤会議、共有の時間をつくっている ・全員参加のミーティングを行っている。	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	85.70%	0.00%	14.30%	・職員同士でまわし共有 ・事前打ち合わせを行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、構造化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71.40%	0.00%	28.60%		
	16 個別支援計画には、ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	71.40%	0.00%	28.60%	預り型ではないので健康、生活の部分あまり見られない	健康、生活については、家庭での様子を今一層面談等で聞き取りたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	57.10%	0.00%	42.90%	プログラム作成時に共有している	引き続き共有しながら行ってきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%	0.00%	0.00%	・放デイは、毎月のプログラムのカレンダーのイベントを変える ・利用者の発達に合わせて変更している。	放デイ発達進捗ともに、発達段階に合わせたプログラムを立てているが、固定化しないよう工夫したい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	71.40%	0.00%	28.60%		
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.00%	0.00%	0.00%	放デイは、支援前に支援するリーダーがサブに共有する	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100.00%	0.00%	0.00%	共有の時間をつくっている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%	0.00%	0.00%	細かく書くこと記録に時間がかかる	支援に大切な内容については、必ず記録するようにしている。
	23 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	57.10%	0.00%	42.90%	業務時間が足りないこと	課題達成と判断したときには、計画書を見直すようにしている。
	24 放課後等デイサービスのガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	42.90%	0.00%	57.10%		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の場の提供」「食糧の提供」のうち、当事務所で可能な活動はするようにしている。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
適切な支援の提供	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	57.10%	0.00%	42.90%		担当者必ず出席するようにしている。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	85.70%	0.00%	14.30%	必要に応じて情報共有を行っている。	保護者からの希望があれば、園、学校訪問等を行っている。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14.30%	14.30%	71.40%		必要に応じて行っていく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	42.90%	14.30%	42.90%	就学支援シートの活用	就学支援シートと共に、保護者にどのようなことを学校側に伝えるべきか等のアドバイスを行っている。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	28.60%	14.30%	57.10%		必要に応じて行っていく。
	31 地域の発達支援センターとの連携を必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	28.60%	14.30%	57.10%		必要に応じて行っていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0.00%	42.90%	57.10%		現在在籍の利用者については、必要性を感じていないが、必要に応じて検討はしていく。
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	0.00%	28.60%	71.40%		必要に応じて行っていく。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%	0.00%	0.00%	・フィードバックの時間をもうけている ・保護者に継続してもらえよう工夫し、相談しやすい関係作りを行っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14.30%	14.30%	71.40%		保護者向けの研修会等は今後検討する。
関係機関や保護者との連携	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	37 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益を優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	38 個別支援計画を共有しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービスの同意を得ているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さようじ同志で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0.00%	28.60%	71.40%		保護者向けの研修会等は今後検討する。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にして発信しているか。	100.00%	0.00%	0.00%		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	0.00%	57.10%	42.90%		必要に応じて検討する。
事業所等への対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85.70%	0.00%	14.30%	防災訓練の実施	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	71.40%	0.00%	28.60%		
	48 事前に、協議や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	85.70%	0.00%	14.30%	面談などで情報収集を行っている。	面談と共に、アセスメントシートにも記載いただいている。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	42.90%	0.00%	57.10%		食品を使ったプログラムの際はアレルギーの有無の聞き取りを行っている。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	71.40%	0.00%	28.60%		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.70%	0.00%	14.30%		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100.00%	0.00%	0.00%		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%	0.00%	0.00%		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	100.00%	0.00%	0.00%		

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。